防災あれこれ ①

防災部会長　井上　順一

皆さん！台風シーズンの季節となりましたが、備えは万全ですか？

毎年全国各地で台風被害や集中豪雨による様々な被害が発生し、多くの「いのち」や「財産」が失われています。「福津は災害の無いまち、これから先も安心して住めるまち」と思っていませんか？災害はいつ、どこで起きるか予測できません。災害を恐れるのでなく、過去の教訓として学び、身近にできる防災対策をたてて、発生時の対応を家族のみんなで考え、訓練しておけば被害を最小限に減らすことが可能だと考えます。シリーズで防災・減災についてお知らせしますので、皆で考えていきましょう。

突然ですが、いま地震が発生しました。どうしますか？日中で家族は仕事や学校でバラバラ状態。連絡方法は？避難場所は？避難経路は？等々家族全員で確認できていますか？

このような事を想定して年に一度は家族会議を開き、確認しましょう。ちなみに神興東小学校の子どもたちは整然と避難することができています。「オハシモ」の教えが有るからです。㋔押さない㋩走らない㋛しゃべらない㋝もどらない。

フ・ぶ・や・き

十三夜

津丸シニアクラブ婦人部長　永井　龍野

私は、夜空を見上げるのが大好き。毎月お目にかかる、数多いお星さまに囲まれたあの「十三夜」。とてもきれいで、いつもうっとりするひと時です。その日は、私事の決まった行事があるのです。

先ずお月様に「今晩は。今月もお会いできてうれしいです。日本国九州、福岡県福津市の永井龍野はここですヨ！」と挨拶。

大きな声で手を振り自分の存在をアピール。今日も踊らせていただきます。と、〽河岸の柳の行きずりに・・・♪と歌って自己流の踊りが始まります。

月によっては庭で、あるいはベランダで。これが私の毎月の楽しみの一つ。そうそう夫が「また踊りようとや」とよく苦笑いをしていましたっけ。

旅の思い出の一つは、中国の蘇州での帰国前夜が「十五夜」だったのです。異国の月のあまりの美しさに体が動き、〽月が出た出た月が出た・・・♪を数人で歌い踊り楽しく過ごしたことも。

踊り終わって、皆さんと一緒に月餅を両手いっぱい買ったあの時のあの満面の笑顔は今も忘れられないなあ。・・・

編集後記（広報宣伝委員会）

私達は、1月や5月のコロナウィルス感染者増やクラスター発生にも負けず、落ち着いて生活をしてきました。が8月になって更に感染者が増加しました。しかし、時々不安になり分からないことがあると、コロナコールセンターに電話をしました。

いつも丁寧に話を聞き、優しく対応してくださったことに感謝しています。

また、ある時は、「うちの学校は医療関係者の親御さんがいるので、子ども達を心配しましたが大丈夫でした。良かったです。」という校長先生の言葉に、とても温かい見守りの心を感じました。

《編集会議風景》

今でも、スマホで陽性者数を確認し、安堵する日常ですが、福津って頑張り屋さんだな！福津って優しいな！あたたかいな！と、今まで以上に『ふくつっていいな！』と思い、少しでも皆さんに喜んでもらえる機関誌づくりを目指している今日この頃です。

（広報委員　宗岡　正枝）